



# よいよい学級集団に向け、 仲間と協働して主体的に取り組む児童を育てよう

繰り返し

事後

本時

事前

## 研究の概要

学級活動において、事前・本時・事後のつながりを大切に、議題に対して自分事として捉え、折り合いの付け方や互いの成長を実感できる振り返りを工夫すれば、目指す児童を育成できると考え、実践しました。

### 事前

#### 見通し 1

自分事として捉える → 課題解決への意識の向上

日直スピーチやつぶやきなどから議題候補の選定をする。

議題候補より全員で議題としてふさわしい課題を決定する。

議題に対して自分の考えを再考する。

より具体的な解決策を考えられる。

相手を意識した解決策が考えられる。

話し合いに意欲的に取り組もうとする態度が育つ。

### 本時

#### 見通し 2

折り合いの付け方 → 集団決定する力の向上

出し合う

比べ合う

まとめる

話し合いスキルを意識した話し合い

合意形成のための5ルール

②この考えは、めあてに沿っているかな。

③どの考えもいから組み合わせることはできないかな。

④別の時間にできることは含めないだったな。

話し合いスキルを意識した話し合い、合意形成のための5ルールを活用し、みんなが納得のいく集団決定ができるようになります。

自分もみんなも  
納得のいく集団決定

<話し合いスキル>  
①共感的に聴く  
②質問する  
③理由を明確にする

①賛成意見を受け入れることも大切だったな。

⑤解決方法として取り上げなくてよい考えは含めないだったな。

合意形成のための5ルール

### 事後

#### 見通し 3

振り返りの活動 → 互いの成長の実感と次への動機付け

自己評価表のA判断基準を児童とともに設定し、それを元実践途中・実践後に自己・他者評価を行います。

～ができるようになった。

① 自己評価

〇〇さん、□□をがんばっていたな。

② 他者評価

友達からのアドバイスでもっとやる気が出た。

③ 全体で共有



第5学年「収穫祭を成功させよう」1-(ウ)

見通し1

自分事として捉える



再考

自分たちで作ったお米で料理したい!!

多くの方にお世話になったし、地域の方を招待して、収穫祭をするのはどうですか。



議題候補から議題決定している様子

再考



みんなで作ったお米をみんなで食べると楽しいし、嬉しくなると思うから。

みんなに美味しく楽しく食べてもらいたいと思いながら作ると感謝の気持ちが伝わると思うから。

写真や手紙で感謝の気持ちを伝えたい。

いつまでも残るし、もらったら心が温かくなると思うから。

再考

児童の願いから議題として妥当かどうか話し合い、議題を設定したり、自分の思いを再考させたりしたことで、課題解決への意識が高まりました。

見通し2

折り合いの付け方

話し合いスキルを意識して



手紙を贈るのがよいと思います。理由は、いつまでも残るし、感謝の気持ちが伝わると思ったからです。

〇〇さんの手紙と写真を組み合わせる考えはいいな。



合意形成のための5ルール

めあてに沿う

組み合わせる

- A 意見が変わって、贈り物はなくてもよいと思います。理由は、人数が多いし、大変だからです。
- B 贈り物をするというのは賛成だけど、めあては「感謝の気持ちを伝えるにはどうしたらよいか考えよう」だから、作るのが大変というのは、めあてに合っていないと思います。
- C 手紙と写真を組み合わせて、手紙に写真を貼って贈るのがよいと思います。
- D Cさんの意見に賛成です。理由は、写真を添えるとその時のことが思い出せるからです。
- E みなさんに賛成です。理由は写真も手紙もいつまでも残って、感謝の気持ちも伝わると思ったからです。

話し合いスキル・5ルールを意識した話し合いを継続して行ったことで、みんなが納得のいく集団決定ができるようになってきました。

集団決定…手紙+写真、料理、感謝の言葉

見通し3

振り返りの活動



仲間と協力して取り組む良さや自己の役割を自覚し、主体的に取り組めるようになりました。

集団決定

準備(係別)・振り返り

収穫祭(12月16日)

実践後の振り返り

感謝の言葉  
料理  
手紙+写真



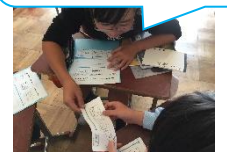
準備段階での自己・他者評価

友達からアドバイスをもらえて、もっと頑張ろうと思いました!!



頑張った成果が収穫祭で出せたね!

地域の方が「美味しい」と言ってくれて嬉しかったね。



成果



- 議題に対して思いを再考する時間を設定したことで、議題に対して自分事として捉え、課題解決への意識が高まり、さらには話し合いに意欲的に参加することにつながりました。
- 話し合いスキルを意識し、合意形成のための5ルールを活用した話し合いを繰り返したことで、めあてに沿った話し合い・みんなが納得のいく集団決定ができるようになりました。
- 集団決定後の準備・実践する段階において、振り返る場面を設定し、自己評価することで、実践への意欲を継続しながら収穫祭に向けて主体的に活動しようとする態度が育ちました。